## GISデータの相互利用と精度管理

ー オルソ画像の役割 -

高知工科大学社会システム工学科高木方隆

### 電子地図の特徴

#### 電子地図の利点

- ◇図画の概念がない (境界がない)
- ◇検索が容易

◇拡大・縮小が可能

- ◇保管も容易
- 電子地図の欠点 ◇コンピュータの起動が必要
- ○地図への書き込みが困難

### 電子媒体の特徴

- ◆電子媒体のメリット
- 今後数製
- ◇二次利用
- ◇流通

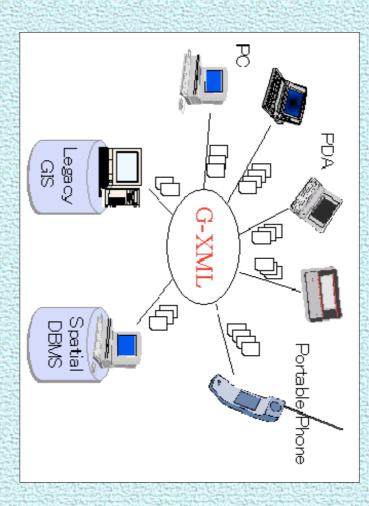
データの標準化

- ◇保管スペース
- ◇セキュリティ

電子媒体のデメリット

◇同的外利用

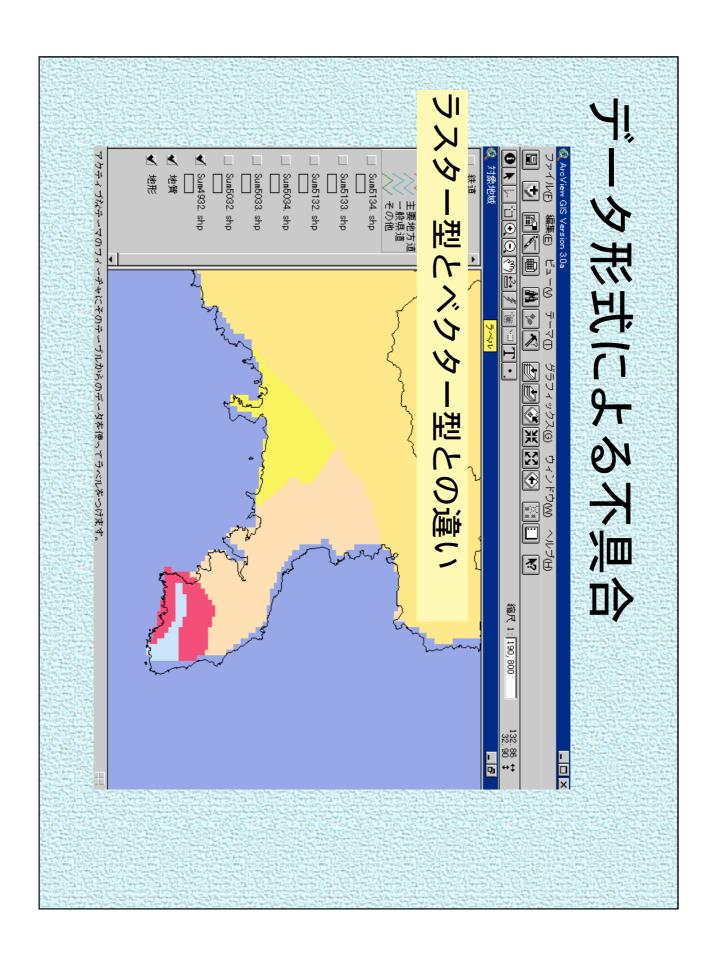
# -夕標準化による相互利用促進



G-XML JIS化(経済産業省)

地理情報標準(国土地理院)

相互利用において問題点続出...



# - 夕形式による不具合(その2)

Microsoft Excel - trafic.xls 니 면 X \_l∄×

% : : : : : : : :

### 住所標記は

12 13 14 17

12

Ì												23				5								-	Ĩ
	高知南環状線	<b>桂浜田火線</b>	<b>推浜田央鎭</b>	<b>推浜田火線</b>	桂浜はりまや線	桂浜はりまや線	桂浜はりまや線	桂浜はりまや線	土居五台山線	高知本山線	高知本山線	高知本山線	春野赤岡線	春野赤岡線	春野赤岡線	高知伊予三島線	一般国道195号	一般国道195号	一般国道56号	国道	一般国道55号	一般国道55号		9 6	・ナルホー
	高知市瀬戸西町	高知市弘化台	高知市東孕	高知市仁井田	通2丁	高知市横浜	高知市瀬戸	高知市浦戸	高知市五台山	高知市七ツ渕	高生市愛古山	高知市愛品町二丁	高知市仁井田	惑	高知市字長浜	高知市塚の原	高知市大津	高知市高須葛島	高知市朝倉戍字中沢182	屋町1	高知市知寄町3丁	高知市大字高須字			9
-														1819(浦戸大橋料金所)					沢182-2	丁目14-1	<b>∃</b> 3−35	字西ノ丸塩田東ノ丸	;井流	2-25	界
   	10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	高知市五台山三ツ石県道32	高知市仁井田新ヶ端	高知市仁井田県道14号接合	裖	高知市瀬戸県道36号接合点	高知市長浜県道14号接合5	高知市浦戸	高知市五台山東崎介良橋右岸	高知市重倉石垣県道269号	高知市愛宕町3丁目	高知市本町1丁目国道32号	高知市種崎町千本松	高知市浦戸	高知市長浜市町村界	高知市上本宮町国道33号接合点	高知市高須新木農免道路接合	高知市知客町3丁目国道55号接合高	高知市朝倉乙881-12	高知市知寄町2丁目4-1	高知市知寄町3丁目29	高知市高須1829-2	高知市介良字野神	高知市本宮町218-7	
 	古41-1029-53 97	号 接合:	<b>副</b> 名		道366号接		마	高知市		·嫉合点	高 治	·嫉合点	<b>副</b> 独	<b>副</b> 治市	<b>副</b> 独	ない こう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう しゅうしょう しゅうしゅう こうしゅう こうしゅう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しゅうしょう しゅうしゅう しゅう		5号接合1	<b>副</b> 为7	歐生	高	<b>副</b> 名市	高治	副知 二	BG N

| | | | | | | | | | trafic

データのコード化

18 19 20 20 21 21 22 22 22 23 23 30 30 33 33

4



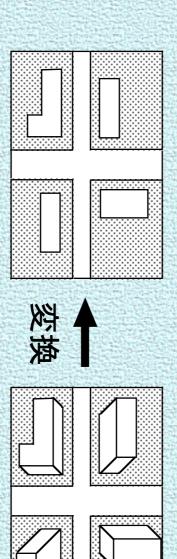
## GISデータ相互利用における問題

- ◆完全な重ね合わせは不可能
- ◇データ形式が同じでも...
- ◇同一精度で作成したデータも.
- ◆とるべき対策
- ◇位置情報より位相情報を重視には、
- 属性データの充実
- 各種データのコード化
- ◇精度に期待しない

## GISデータ精度管理のために

### ◆オルン画像の利用

- ◇基図としての潜在能力は大
- ◇コンピュータの能力を活用



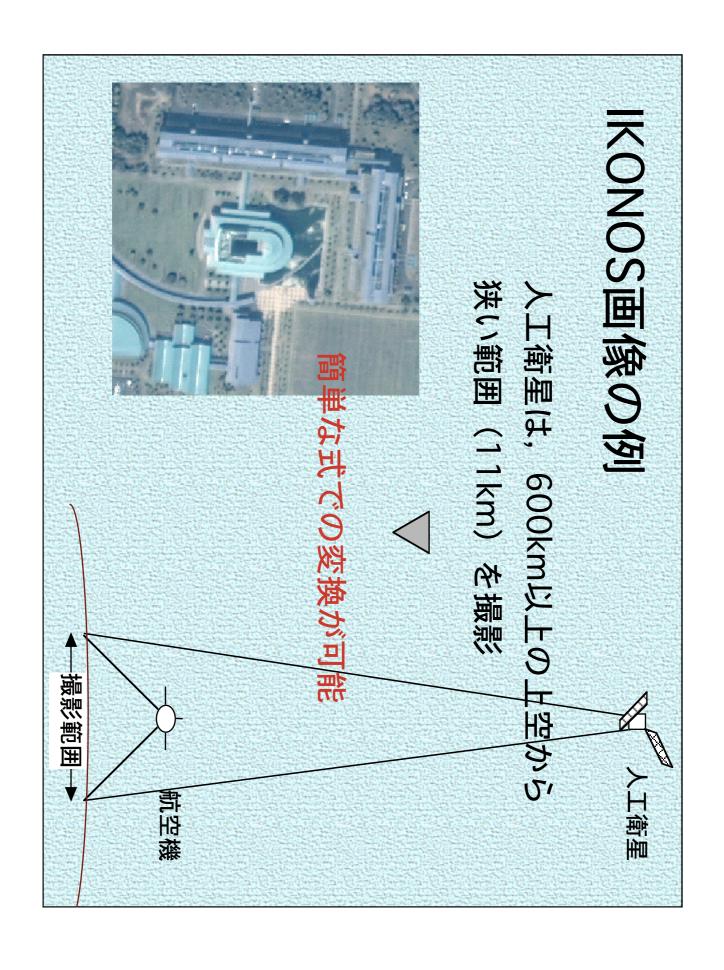
オルソ画像

(地図)

中心投影画像

(未処理の航空写真等)

高分解能人工衛星の役割大!



# 衛星画像からオルン画像を作成する

高知工科大学での事例紹介

- ◆基準点の取得
- →地図からの高精度基準点取得は困難
- ◇基準点をGPS静止測量によって計測
- ◆オルン画像への変換
- ◇線形変換での補正も可能か検討

#### 3次元射影変換

 $u = \frac{a_1 x + a_2 y + a_3 z + a_4}{a_4 + a_5 + a_5}$ 

 $a_5x + a_6y + a_7z + 1$  $b_1x + b_2y + b_3z + b_4$ 

 $a_5x + a_6y + a_7z + 1$ 

$$\bigvee$$

#### 3次元アフィン密模

$$u = a_1x + a_2y + a_3z + a_4$$
$$v = b_1x + b_2y + b_3z + b_4$$

簡単な線形変換式

#### 中心投影に基づいた変換式

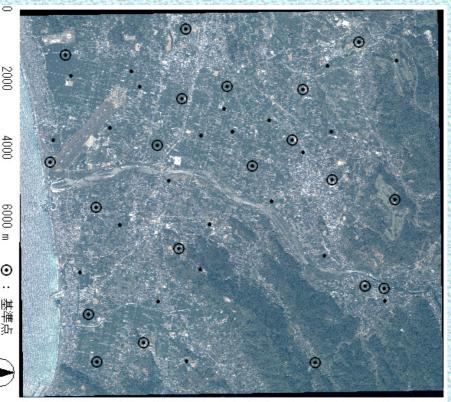
#### 基準点の観測

GPS高速スタティック 記録間隔30秒 記録時間20~30分 最大基線長12km 観測誤差3cm以内

セッティング誤差5cm以内

基準点数20 検証点数23

約一か月で観測完了



## 基準点・検証点の誤差RMS

(単位:ピクセル)

### 3次元アフィン変換

u=0.93

u = 0.53

v=0.40

v=0.37

V方向が良い.

ラインスキャナの影響

### 3次元射影変換

u=0.95

u=1.10

v = 0.61

v=0.66

衛星画像は十分利用できると判断

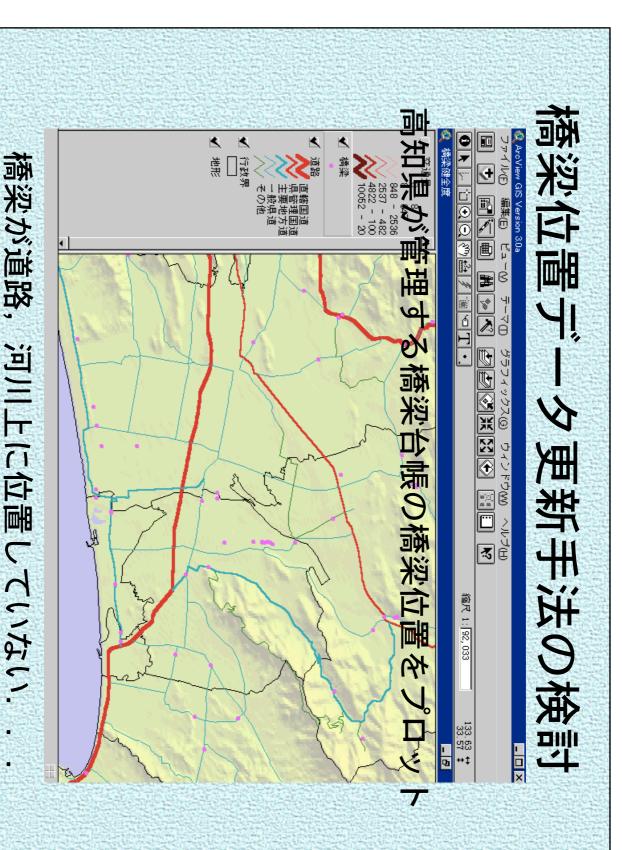
#### オルン 画像の利用例

- ◆画像情報の利点
- ◇位置精度のが一定
- ◇画像には空白の部分がない

基図として有効

- 画像による物体判読
- ◇マルチスペクトルデータによる判読
- ◇画像の空間情報による判読

橋梁の判読例



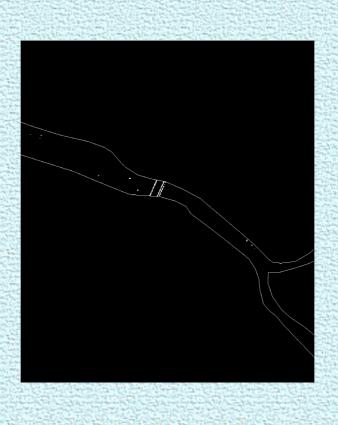
## Hシジ描出による 極深描出





河川上のエッジを橋梁候補とする.

### 当三ポリゴンドトスク





# Hongh密域によって総の多曲出線の描出は、極めて良好.

#### 判読結果

- ◆約80%の橋梁抽出に成功
- ◇エッジ抽出法,ノイズ除去が課題
- 問題は、使用した河川ポリゴン ◇河川ポリゴンの精度が低い

## 河川データ自身に問題が.



橋梁検出手法としては、 有效

#### ましめ

- ◆データ流通に伴う問題点
- ◇データがうまく重ならない
- ▶オルン画像の有効性
- ◇高分解能衛星データの活用
- ◇基図としての活用
- ◇物体判読の可能性